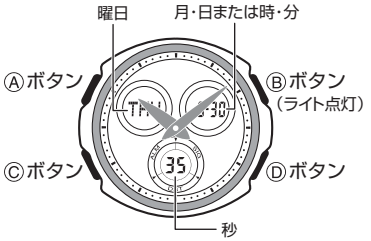
Operation Guide 3786

CASIO

操作のしくみと表示の見方

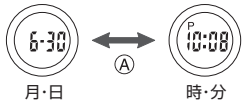
●Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモード、ハンドセットモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



★曜日の見方
SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

★表示切替について
Ⓐボタンを押すごとに、右上のデジタル部の「月·日」または「時·分」が切り替わって表示されます。



ワールドタイムモード

世界48都市29タイムゾーンの時刻を簡単に知ることができます。



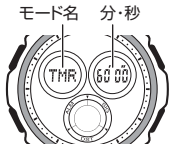
ストップウオッチモード

1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。



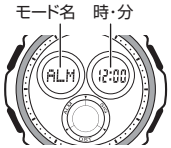
タイマーモード

1分単位で60分までセットでき、セットした時間を経過すると10秒間の電子ブザーが鳴ります。



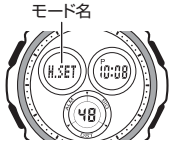
アラームモード

アラーム時刻のセットや時報のON/OFFができます。



ハンドセットモード

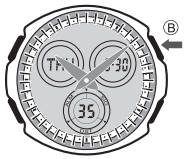
アナログ部の針をデジタル部に合わせることができます。



ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも時刻を見ることができます。

※点灯時間は約 1.5 秒間と約 2.5秒間のいずれかを選ぶことができます。



ご注意
- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 手動受信中は、ライトは点灯しません。

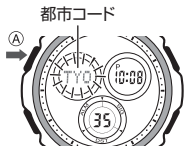
●ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡都市コードが点滅します。



2. 「秒」を点滅させる

Ⓒボタンを3回押します

➡「秒」が点滅します。

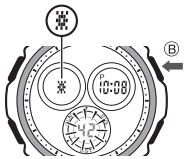


3. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 2.5 秒間が切り替わります。

※ ⁘ マーク＝約 1.5 秒間
⁙ マーク＝約 2.5 秒間



4. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

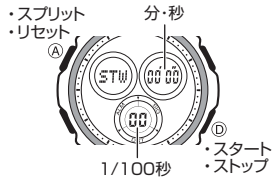
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンをおすごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（スプリットマーク“SPL”点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

ご注意

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

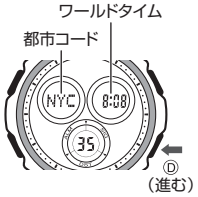
* セットについては「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。
※押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

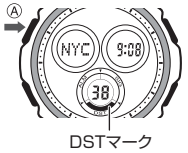
サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡Ⓐボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、ホームタイムで設定している都市を表示しているときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11.0	パゴパゴ	ROM	1.0	ローマ
HNL	−10.0	ホノルル	BER	1.0	ベルリン
ANC	−9.0	アンカレジ	STO	1.0	ストックホルム
YVR	−8.0	バンクーバー	ATH	2.0	アテネ
LAX	−8.0	ロサンゼルス	CAI	2.0	カイロ
YEA	−7.0	エドモントン	JRS	2.0	エルサレム
DEN	−7.0	デンバー	MOW	3.0	モスクワ
MEX	−6.0	メキシコシティ	JED	3.0	ジェッダ
YWG	−6.0	ウィニペグ	THR	3.5	テヘラン
CHI	−6.0	シカゴ	DXB	4.0	ドバイ
MIA	−5.0	マイアミ	KBL	4.5	カブール
YTO	−5.0	トロント	KHI	5.0	カラチ
NYC	−5.0	ニューヨーク	DEL	5.5	デリー
CCS	−4.0	カラカス	DAC	6.0	ダッカ
YHZ	−4.0	ハリファックス	RGN	6.5	ヤンゴン
YYT	−3.5	セントジョンズ	BKK	7.0	バンコク
RIO	−3.0	リオデジャネイロ	HKG	8.0	香港
RAI	−1.0	プライア	SEL	9.0	ソウル
LIS	0.0	リスボン	TYO	9.0	東京
LON	0.0	ロンドン	ADL	9.5	アデレード
BCN	1.0	バルセロナ	GUM	10.0	グアム
MAD	1.0	マドリード	SYD	10.0	シドニー
PAR	1.0	パリ	NOU	11.0	ヌーメア
MIL	1.0	ミラノ	WLG	12.0	ウェリントン

※この表は2006年12月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で60分までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

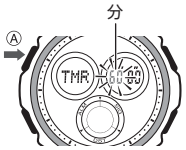
■タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

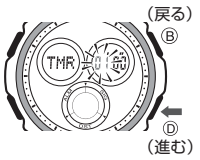
➡「分」が点滅します。



2. 「分」のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

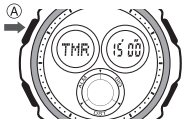
➡ Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

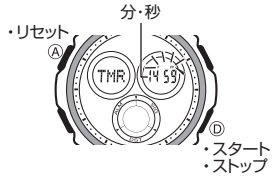


■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は1秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

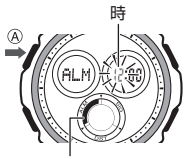
アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

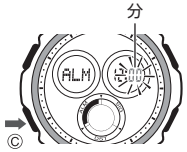
➡「時」が点滅します。
※ アラーム ON マークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

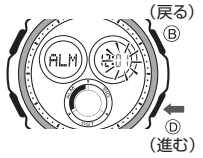
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



2.～*3.*の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます 。

※「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

4. セットを終わる

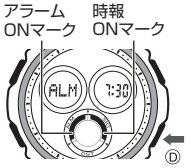
Ⓐ ボタンを押します

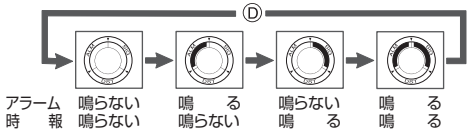
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにアラームONマークと時報ONマークが点灯／消灯を繰り返します。
※それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。





■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。
※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

デジタル部とアナログ部の時刻を同時に修正するときは、デジタル部の時刻を先に修正してください。

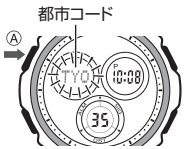
■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

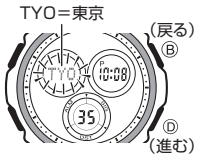
➡都市コードが点滅します。



2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域(都市)を選びます。
*「都市コード一覧」参照。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



3. 「サマータイム設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの設定になります。



4. 切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



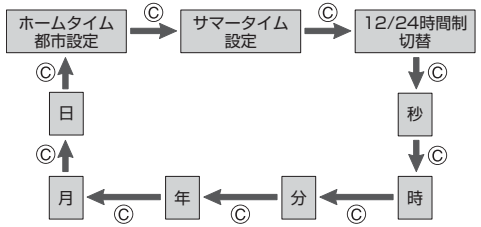
● OFF サマータイムは OFF になります（通常時間）。
● ON サマータイムは ON になります（夏時間）。 ※ 通常の時刻より 1 時間進みます。 セット完了後、DST マークが点灯します。

5. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





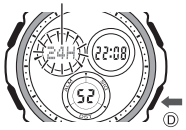
6. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「12/24 時間制切替」のとき

Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。

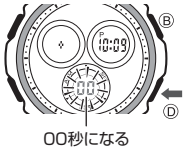


b.「秒」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス 117 番」が便利です)

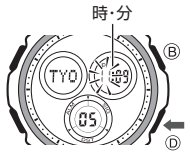
※秒が点滅しているときに Ⓑ ボタンを押すと、ライトの点灯時間を切り替えることができます(「ライト点灯について」参照)。



c.「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



※「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

<シンクロ機能>

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部（針）も連動して修正されます。

※針の修正は、デジタル部の修正に合わせて時計回り（正転方向）に送られます。

※針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

■アナログ部（針）の修正

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、ハンドセットモードで合わせてください。

準備：「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します



➡「時・分」が点滅します。

2. アナログ部を合わせる

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに 1/3 分（20 秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早送りします。

<針の自動早送り>

- Ⓓ ボタンを押し続けて早送り中に Ⓑ ボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。
- 自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。報音終了後、再び動き出します。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ Ⓒ ボタンを押して、使いたいモードに切り替えてください。